



令和8年度 自然再生士資格認定試験 受験の手引き

開催概要	
試験日程	2026年6月14日（日）10：00～13：30
試験会場	東京会場：ビジョンセンター東京京橋 404 室 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-1 相互館 110 タワー4F https://www.visioncenter.jp/tokyo/kyobashi/access/ 
申込期間	2026年4月1日（水）～6月2日（火） ※郵送は締切日消印有効・オンラインは締切日終日まで

【自然再生士資格認定試験 近年の変更点】

①オンライン方式での受験申込が可能になりました。

申込フォーム URL：<https://forms.gle/kShTiHdVBF9VYvAMA> ⇨



令和8年度
受験申込
フォーム

②「自然再生士」は、令和2年2月に国土交通省の公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格に登録（登録番号第319号）され、令和7年2月に更新されました。

一般財団法人
日本緑化センター
Japan Greenery Research and Development Center

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-2-29 K,I,H ビル 2F
TEL：03-6457-5218 FAX：03-6457-5219

目次

自然再生士資格制度の概要	1
1. 受験資格	3
2. 受験申込の手続き	3
(1) 受験申込の受付期間	3
(2) 受験手数料と振込先	3
(3) 受験申込方法	3
(4) 提出書類	4
(5) ㊸オンライン方式の提出書類データの注意点	5
(6) 受験票の送付	5
3. 受験申込書類の作成上の留意事項	6
(1) 提出書類①～③共通	6
(2) 各種様式の注意点と留意事項	6
4. 試験	8
(1) 試験の概要	8
(2) 試験内容と配点、合格基準	8
(3) 試験の注意事項	9
(4) 試験の合否通知	9
5. 登録申請（資格試験の合格後）	10
(1) 登録申請	10
(2) 認定書の送付	10
(3) 登録更新	10
◎様式第1号 自然再生士資格認定試験申込書	11
◎様式第2号 実務経歴書	12
◎様式第3号 経験論述	13

0. 自然再生士資格制度の概要

「自然再生士」とは

「自然再生士」とは、自然再生に必要な知識・技術・経験を有する、自然再生の推進者です。「自然再生士」には、自然再生に係る事業全体を把握し、調査・計画・設計・施工・管理の、各々の事業段階において行われるべき業務や活動において、これに係わる人々をコーディネートするとともに、自ら担当する自然再生を実行できる能力が求められます。

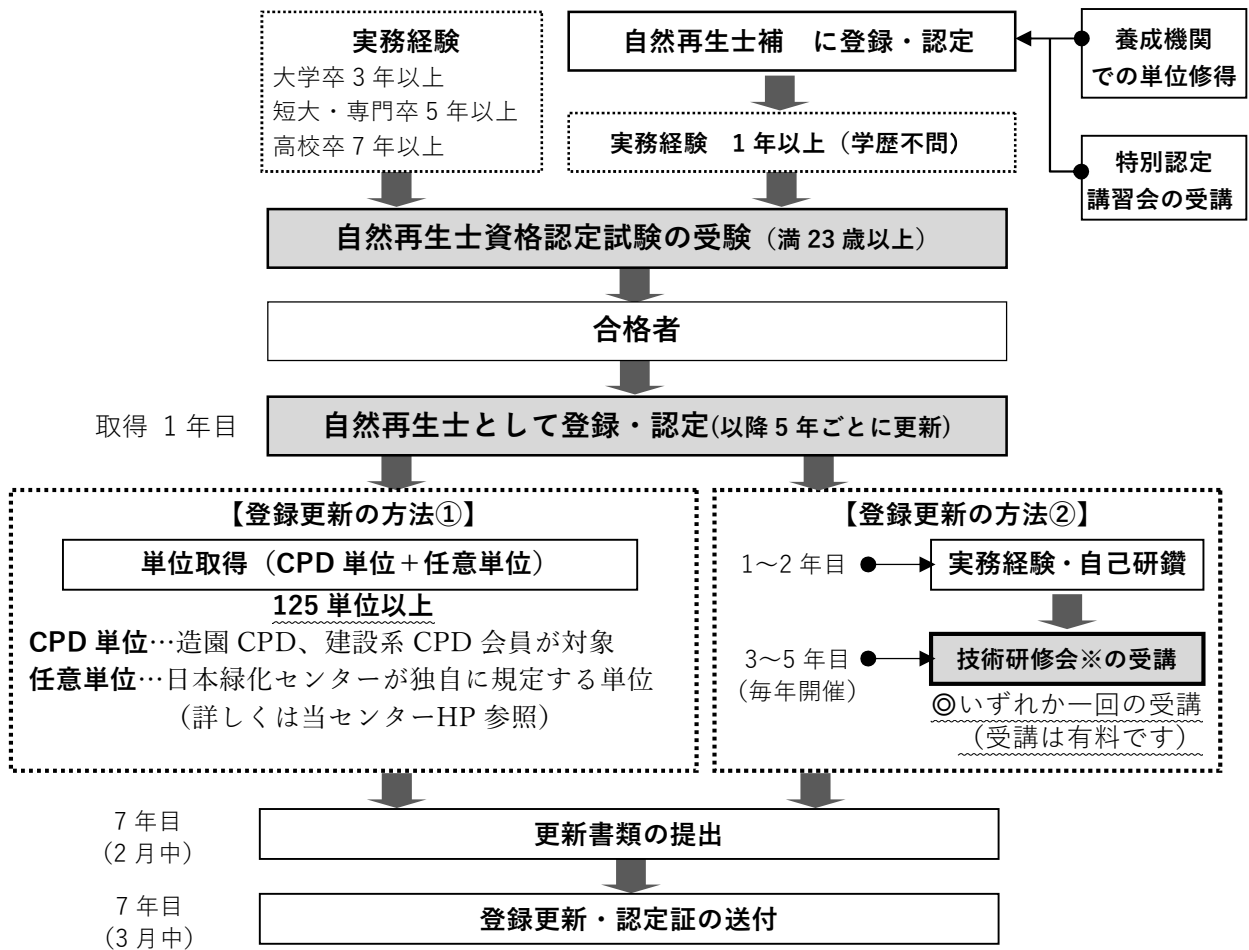
<資格名称>

自然再生士

Nature Restoration Promoter

「自然再生士」は、国土交通省の公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格に登録（登録番号第 319 号）され、令和 7 年 2 月に更新されました。

「自然再生士資格制度」の基本構成



※技術研修会の受講とは、年 2 回開催される「自然再生技術研修会」（令和 3 年度以降は、現場実習と WEB セミナーを併用）を指し、その他、全国の自然再生実践地で行われる「自然再生実地研修」への参加も含まれます。その他、「みどりの総合講座」において、任意の 2 コースの受講も更新対象となります。

1. 受験資格

以下の実務経験と、要件①～③を全て満たしている方は、**自然再生士資格認定試験の受験が可能**です。

実務経験	<ul style="list-style-type: none">○自然環境の保全、再生に関わる業務、活動、研究など。○自然環境の保全、再生に関わるボランティア活動や人材育成、環境教育など。○自然環境の保全、再生に関わる大学院在学期間中に行われた活動や研究など。
-------------	--

要件①	満23歳以上（受験年度の4月1日時点）の方								
要件②	<p>自然再生に係る以下の実務経験年数を有していること。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"><tr><td>①大学卒</td><td>3年以上</td></tr><tr><td>②短期大学、専門学校、高専卒</td><td>5年以上</td></tr><tr><td>③高校卒</td><td>7年以上</td></tr><tr><td>④自然再生士補</td><td>1年以上（※1、2）</td></tr></table> <p>※1. 当センターの主催する「自然再生セミナー」を修了して、自然再生士補の認定を受けた方の場合、自然再生士補の認定を受ける以前の実務経験を含めることができます。</p> <p>※2. 大学院在学中に前年度の10月期に補資格認定を受けた場合は、その年度の4月にさかのぼり、1年間の実務経験として認められます。</p>	①大学卒	3年以上	②短期大学、専門学校、高専卒	5年以上	③高校卒	7年以上	④自然再生士補	1年以上（※1、2）
①大学卒	3年以上								
②短期大学、専門学校、高専卒	5年以上								
③高校卒	7年以上								
④自然再生士補	1年以上（※1、2）								
要件③	<p>次の事項に該当しないこと。</p> <ul style="list-style-type: none">○成年被後見人又は被保佐人として登録されている者○禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない者○公務員で懲戒免職の処分を受け、その処分を受けた日から起算して2年を経過しない者○破産者で復権を得ない者○過去の第1次審査または第2次審査において、不正行為を行ったことで受験等が禁止されてから2年を経過しない者								

【参考】自然再生士補とは？

自然再生士補資格は、自然再生士補資格養成機関として認定を受けた大学等において指定分野の単位を在学中に修得した方か、あるいは当センターの主催する「自然再生セミナー」を受講し、申請することで認定される資格です。

（一財）日本緑化センターHP「自然再生士補認定制度について」

URL：https://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/shiho/shiho_seido.html



【参考】自然再生士動向アンケート

自然再生士として活動する方へのアンケート結果を公開しています。

自然再生士の活動や、今後求められる自然再生の知識・技術、社会での役割や存在意義について知ることが出来ます。

（一財）日本緑化センターHP「自然再生士動向アンケートの結果」

URL：https://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/ank_kekka.html



2. 受験申込の手続き

(1) 受験申込の受付期間

以下の期間内に、受験申込に必要な書類・データを用意し、申込手続きをとってください。

申込期間	2026年4月1日(水)～6月2日(火) ※郵送は締切日消印有効・オンラインは締切日終日まで
------	---

(2) 受験手数料と振込先

受験申し込みの前に、必ず受験手数料をお振込みください。振込手数料は振込者の負担となります。第1次審査の受験手数料は「自然再生土補認定の有無」により異なります。以下の表で自身の区分をご確認ください。

振込明細等の提出は不要です。振込金額・名義・振込日を明記してください。


受験者の区分	受験手数料
自然再生土補の認定を受けていない方	受験手数料① (19,000円税込)
自然再生土補の認定を受けている方 ※「自然再生土補認定証の写し」を必ず添付してください。	受験手数料② (16,000円税込)

受験手数料の振込先	
振込銀行名	三菱UFJ銀行 東京公務部 (300)
預金の種別	普通預金
口座名	ザイ)ニホンリョツカセンター
口座番号	0000393

受験手数料は、原則として当方の責により受験できなかった場合を除き、返還いたしません。書類審査の段階で受験資格がないと判断された場合には、書類審査に係る審査料(3,300円)と返金時の振込手数料を除いた額を返金します。

(3) 受験申込方法

・申込方法は「**㉠郵送方式による申込**」と「**㉡オンライン方式による申込**」が選択できます。

㉠郵送方式	<p>○申込に必要な書類を用意して、(一財)日本緑化センター 自然再生土試験係まで郵送(封筒)またはレターパック・ライトで送付してください。</p> <p>・封筒の表面またはレターパックの品名記入欄に必ず「自然再生土試験申込書在中」と記載してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【受験申込の郵送先】 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-2-29 K,I,H ビル 2F 一般財団法人 日本緑化センター 自然再生土試験係 宛 TEL: 03-6457-5218 FAX: 03-6457-5219</p></div>
㉡オンライン方式	<p>【注意】 オンラインからの申込には、Gmail アカウントが必要です。</p> <p>○申込に必要な書類のデータを用意して、以下の URL からフォームへの入力とデータのアップロードをしてください。</p> <p>【㉡オンライン方式 申込フォーム URL】 https://forms.gle/kShTiHdVBF9VYvAMA</p> <div style="text-align: right;"> 令和8年度 受験申込 フォーム</div>

(4) 提出書類

提出いただく書類は書類審査の対象となるものです。不足の無いよう、十分ご確認ください。
書類の不備・不足は書類審査の減点対象となります。

受験申込は、**①郵送方式**と**②オンライン方式**のいずれかを選択可能です。

書類作成においては、**P6～7**の「**受験申込書類の作成上の留意事項**」をご参照ください。

様式第1～3号はパソコンでの作成が可能です。当センターHPで様式(ExcelファイルまたはPDF)をダウンロードして作成してください。なお、Excelファイルは、「**入力補助機能付**」と「**直接入力用**」の2種類から選択できます。

申込に必要な書類		
①郵送方式	書面で用意	書類①②③④+必要に応じて⑤
②オンライン方式	データを用意	書類①②③④+必要に応じて⑤

申込に必要な書類と確認事項		①郵送方式	②オンライン方式
書類①	○ ① の方は、申込書に顔写真の貼付が必要です。 (写真サイズ：縦4.5×横3.5cmまたは縦4.0×横3.0cm) ※Excelデータ上に顔写真のjpegファイルを貼り付けても結構です。	必須	必須
[様式第1号] 自然再生士資格 認定試験申込書 (①② 必須)		作成した 書類	PDF形式データ をアップロード (10MB未満)
書類②	○主体的に従事した内容を記入してください。 (従事期間は重複しないように記載)	必須	必須
[様式第2号] 実務経歴書 (①② 必須)		作成した 書類	PDF形式データ をアップロード (10MB未満)
書類③	○800字以内としてください。	必須	必須
[様式第3号] 経験論述 (①② 必須)		作成した 書類	PDF形式データ をアップロード (10MB未満)
書類④	○スマホ等で撮影した写真も使用可能です。 ○直近6ヵ月以内に撮影したもので、背景は白または単一の淡い色としてください。 ○ ① の方は、裏面に氏名を記入してください。	必須	必須
顔写真 (①② 必須)		①様式第1号 とは別で1枚	JPEG形式データ をアップロード (10MB未満)
書類⑤	○振込金額、振込日、振込名義が分かる振込票 や振込画面等の写しを提出してください。 ○スマートフォン等で撮影した写真や画面のスクリーンショットも使用可能です。	必須	必要に応じて
振込確認書類		振込票または 振込画面等の 写し	PDF・JPEG形式 データを アップロード (10MB未満)
書類⑥	○自然再生士補資格の認定者で、受験手数料② (P3)に該当する方は必要です。 ※携帯用カード型認定証の写し・データでも構 いません。	必要に応じて	必要に応じて
自然再生士補 認定証の写し (必要に応じて)		認定証 の写し	PDF・JPEG形式 データを アップロード (10MB未満)

(5) ②オンライン方式の提出書類データの注意点

「②オンライン方式」で受験申込をする場合、フォーム上でデータのアップロードが必要になります。アップロードするデータには、必ず下記表を参照し「指定のファイル名」を付けてください。

申込に必要な書類	ファイル名のつけ方 自然 再生（ふりがな：しぜんさいせい）の場合
書類① [様式第1号] 試験申込書	「試験申込書」 + 「氏名ふりがな」 例) 試験申込書しぜんさいせい
書類② [様式第2号] 実務経歴書	「実務経歴書」 + 「氏名ふりがな」 例) 実務経歴書しぜんさいせい
書類③ [様式第3号] 経験論述	「経験論述」 + 「氏名ふりがな」 例) 経験論述しぜんさいせい
書類④ 顔写真	「顔写真」 + 「氏名ふりがな」 例) 顔写真しぜんさいせい
書類⑤ 振込確認書類	「振込確認書類」 + 「氏名ふりがな」 例) 振込しぜんさいせい
書類⑥ 自然再生士補認定証写し	「自然再生士補」 + 「氏名ふりがな」 例) 自然再生士補しぜんさいせい

(6) 受験票の送付

当センターより受験票はがきを6月上旬に発送します。送り先は原則、「自然再生士資格認定試験申込書に記載の現住所（原則、自宅）」となります。受験票には受験番号・集合時間・領収書事項等の必要事項が印刷されています。受験票を受け取られましたら、必ず記載内容をご確認ください。

当センターからの連絡がない限り、受験は可能です。交通手段や宿泊等を必要とする方はお早めにご自身で確保をお願いいたします。

6月8日（月）までに受験票が届かない場合は「自然再生士試験係」にお問い合わせください。

3. 受験申込書類の作成上の留意事項

受験申込書類の作成にあたり、経歴内容に虚偽の申請があった場合は、試験合格後であっても合格を取り消し、その後の2年間、試験を受験することができません。

(1) 提出書類①～③共通

書類審査の対象となるものです。記載の不備、誤字・脱字、乱雑な記入等が無いように十分ご注意ください。

パソコン等による作成が可能です。当センターHPで様式（Excel ファイルまたは PDF）をダウンロードして作成してください。詳細については【参考】欄を参照。なお、Excel ファイルは、「入力補助機能付」と「直接入力用」の2種類から選択できます。

黒または青の筆記用具（鉛筆や消えるインクのボールペン等は不可）を使用してください。

記入・入力する漢字は「常用漢字」を使用し、「外字」は使用しないでください。自然再生士資格認定試験の合格後、証明書に外字を使用したい方は改めて伺います。

【参考】

（一財）日本緑化センターHP「自然再生士資格認定試験 応募手続き」

申込書類作成用の Excel ファイル（「入力補助機能付」or「直接入力」）ファイルのダウンロードが可能です。

URL：<https://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p05.html>



(2) 各種様式の注意点と留意事項

提出書類① 様式第1号 自然再生士資格認定試験申込書

①郵送方式の方		②オンライン方式の方	
パソコン（Excel「入力補助機能付」or「直接入力用」）または手書きにて作成し、書類を提出してください。		パソコン（Excel「入力補助機能付」or「直接入力用」）または手書きにて作成し、PDF データをアップロードしてください。	
注意点	<p>①太枠内の必要事項をすべて記入してください（※欄は記入しないでください）。</p> <p>②本籍地は都道府県名のみを記入してください。</p> <p>③都道府県コード欄及び業種コード欄は、それぞれ表-1、表-2を参照し、番号を記入してください（複数の業種にまたがる場合は、本人が実行する主要業務に絞ってください）。</p> <p>④取得した個人情報厳正に管理し、当財団の業務運営上必要な範囲内で利用させていただきます。</p>		

表-1 都道府県コード表

1	北海道	11	埼玉県	21	岐阜県	31	鳥取県	41	佐賀県
2	青森県	12	千葉県	22	静岡県	32	島根県	42	長崎県
3	岩手県	13	東京都	23	愛知県	33	岡山県	43	熊本県
4	宮城県	14	神奈川県	24	三重県	34	広島県	44	大分県
5	秋田県	15	新潟県	25	滋賀県	35	山口県	45	宮崎県
6	山形県	16	富山県	26	京都府	36	徳島県	46	鹿児島県
7	福島県	17	石川県	27	大阪府	37	香川県	47	沖縄県
8	茨城県	18	福井県	28	兵庫県	38	愛媛県		
9	栃木県	19	山梨県	29	奈良県	39	高知県		
10	群馬県	20	長野県	30	和歌山県	40	福岡県	50	外国

表-2 勤務先:業種コード表

番号	職種	番号	職種
1	建設業（土木業を除く建設業一般）関係	9	行政機関（地方公共団体）及び関係機関
2	土木業 関係	10	財団法人・社団法人
3	造園業 関係	11	法人格を有さない市民団体等
4	農業土木、林業関係、農林業薬剤関係	12	組合（連合会含む）
5	計画・設計 関係	13	特定非営利活動法人（NPO）等
6	調査・分析 関係	14	その他 1～13 にあてはまらない場合、 具体的職種を記入してください（無職を 含みます）。
7	教育機関（教職員を含む）・研究機関		
8	行政機関（国）・関係機関		

提出書類② 様式第2号 実務経歴書

①郵送方式の方

パソコン（Excel「入力補助機能付版」or「直接入力版」）または手書きにて作成し、書類を提出してください。

②オンライン方式の方

パソコン（Excel「入力補助機能付版」or「直接入力版」）または手書きにて作成し、PDF データをアップロードしてください。

注意点

①実務内容は業種名・工事名・委託業務名ではなく、以下の実務に従事したことが判断できる具体的な内容を記入してください。

自然環境の保全、再生に関わる業務、活動、研究など

②従事期間は時系列（時間の経過順）で記入してください。従事期間は重複しないように記入してください。

③従事期間は受験資格に必要な要件①の実務経験年数を満たしていることを確認して、合計数まで忘れずに記入して下さい。

自然再生士補資格の認定の有無	必要な実務経験年数（申込時点）
自然再生士補認定を受けていない場合	満 23 歳以上（受験年度の 4 月 1 日時点）で、 ①大学卒・・・・・・・・・・・・・ 3 年以上 ②短期大学・専門学校・高専卒・・ 5 年以上 ③高校卒・・・・・・・・・・・・・ 7 年以上
自然再生士補認定者の場合	満 23 歳以上（受験年度の 4 月 1 日時点）で、 ④自然再生士補・・ 1 年以上

その他
留意事項

④大学院における研究経歴を記入する場合、実務内容欄に大学院での研究内容を記入してください。

提出書類③ 様式第3号 経験論述

①郵送方式の方

パソコン（Excel「入力補助機能付版」or「直接入力版」）または手書きにて作成し、書類を提出してください。

②オンライン方式の方

パソコン（Excel「入力補助機能付版」or「直接入力版」）または手書きにて作成し、PDF データをアップロードしてください。その際は 1 つの PDF ファイルにまとめてください。

注意点


①経験論述は、実務経歴書（様式第2号）に記載された実務経験の中から 1 つを選んで、規定の用紙に 800 字以内で作成してください。

②実務経験は、職業等として行っている業務（調査・研究を含む）・ボランティア活動等市民参加型社会活動・人材育成活動（環境教育を含む）に係る内容を含むものとします。

4. 試験

(1) 試験の概要

応募者が自然再生士に必要な基礎的知識及び技術を基準以上有しているかを審査するものです。

試験日時	2026年6月14日(日) 10:00~13:30
集合時間	9:50 からガイダンスが始まりますので、それまでに受験票に記載された受験番号の机に着席ください。
入室時間	9:20 から入室できます。時間にゆとりを持ってお越しください。 試験会場内・敷地内での食事は一切できませんのでご了解願います。
試験会場	東京会場：ビジョンセンター東京京橋 404 室 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-1 相互館 110 タワー 4F URL : https://www.visioncenter.jp/tokyo/kyobashi/access/ 

時間	内容
9:50~10:00	ガイダンス
10:00~11:30	択一問題
11:30~12:00	休憩(昼食時間は確保しません)
12:00~13:30	専門技術論述問題

(2) 試験内容と配点、合格基準

- ① 択一問題は、陸域生態系から水域・海洋生態系に関わる内容を含みます。
- ② 専門技術論述は、5 題の内 2 題を選択し、1 題 400 字で解答します。
- ③ 経験論述問題は、実務経歴書(様式第 2 号)に記載された実務経験の中から 1 つを選んで、規定の用紙に 800 字以内で記述し事前に提出します。
- ④ 択一式が 30 点以上、論述式が 20 点以上、合計で 60 点以上が合格となります。

設問内容	問題数	内容	配点	合格基準
1) 択一式	30 題 4 者択一	①自然再生総論 ②計画・設計 ③施工・管理 ④生態系 ⑤技術者倫理・関連法規	60 点満点 (1 題 2 点)	30 点以上 (50%以上)
2) 専門技術論述	5 題の内 2 題選択 (1 題 400 字)	①企画・計画分野 ②設計・設計監理分野 ③施工・施工管理分野 ④維持管理分野 ⑤市民活動分野	30 点満点 (2 題合計)	合計得点が 20 点以上 (50%以上)
3) ※経験論述 (申込時に提出)	1 題 800 字	実務経験の中から 1 つを 選択して作成	10 点満点	
合計点(総合点)			100 点	合計得点が 60 点以上

(3) 試験の注意事項

試験会場の注意事項

- ①試験当日は、9:20 から入室可、9:50 からガイダンスが始まります。
時間に余裕をもって早めに来場してください。入室時間が変更になる場合があります。詳しくは受験票をご確認ください。
- ②試験開始から30分(10:30)までの遅刻は認めません。
それを超えた場合は受験できません。
- ③試験当日は受付の必要はありません。
受験票に記載された受験番号の机に着席し、受験票を机上の受験番号札の下側に試験監督員から見えるように置いてください。
- ④受験票を忘失した方は、必ず事務局より再発行を受けてください。
受験票がないと受験できません。再発行の際に必要となりますので、来場の際は必ず身分を証明できるもの(写真等で本人を特定できるもの)をお持ちください。
- ⑤試験室内では試験監督員の指示に従ってください。
指示に従わない場合は「退去」を命じたうえ「失格」となる場合があります。試験室内における空調機器の調節も試験監督員が行います。
- ⑥試験中、ペットボトルとキャップ式缶ボトル、水筒(保温ケースなし)の利用はできます。
保温ケース付き水筒を持ち込まれた場合は、試験前にケースをカバンに収納いただきます。
- ⑦昼食時間は確保しません。
- ⑧試験室内は禁煙です。
休憩中の喫煙は定められた場所以外では厳禁です。

試験時の注意事項

- ①不正手段を用いて受験した者は、即刻退去を命じます。不正行為を行った者は、その後2年間の受験が禁止されます。
- ②試験中、スマートフォン、スマートウォッチ等の通信機器・電子機器は使用できません。
- ③試験開始後30分以内、および試験終了10分前からは途中退室ができません。
- ④試験が終了し途中退室する場合には、必ず挙手を行い、監督員による確認と退室許可を受けてください。問題冊子、解答用紙を机の上に伏せ、荷物をすべてお持ちのうえ退室してください。退室後の再入室はできません。
- ⑤各試験終了後、監督員が解答用紙、問題用紙の回収、確認を行います。監督員の合図があるまで退室はできません。
- ⑥試験問題・解答用紙は持ち帰ることができません。

(4) 試験の合否通知

2026年8月中旬～下旬頃、受験者全員に合否通知書を郵送にて通知します。電話による合否の問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。

5. 登録申請（試験合格後）

（1）登録申請

- ・合格者に対して、自然再生士登録手続きの案内を行いますので、合格通知日より3ヵ月以内に登録の手続きをお願いします。
- ・登録手数料は**11,000円（税込）**です。
- ・登録者は、自然再生士登録者名簿に記載されます。

（2）認定書の送付

- ・登録者には、概ね10月中旬から下旬頃、「自然再生士認定証」が交付されます。

（3）登録更新

- ・自然再生士として認定を受ける有効期間は5年間です。
- ・登録更新手数料は**11,000円（税込）**です。
- ・更新希望者は、以下に示すいずれかの方法により、登録更新を受けることができます。
- ・詳細は、当センターHPをご覧ください。か、更新手続きが必要となる年度にご案内します。

【方法①】	⇒ 単位取得（125単位）による方法 ・「造園CPD単位」と、「その他建設系CPD単位」および「任意単位」等を合計して125単位以上の取得により、自然再生士の登録更新を行うものです。
【方法②】	⇒『 自然再生技術研修会等 』の受講による方法 ・自然再生技術研修会とは、自然再生士の資格取得者を対象に、自然再生、環境保全、生物多様性に関連する知識、能力、技術力の向上を目的として、実践的なカリキュラムで行う研修会のことで、この研修会の受講により、自然再生士の登録更新を行うものです。 ・自然再生技術研修会は、年2回開催される「自然再生技術研修会」（令和3年度以降は、現場実習とWEBセミナーを併用）を指し、その他、全国の自然再生実践地で行われる「自然再生実地研修」への参加も含まれます。 ・その他、「みどりの総合講座」において、任意の2コースの受講も更新対象となります。

自然再生士資格認定試験申込書

受付番号 ※事務局使用欄		試験会場		東京会場		
ふりがな						【写真貼付欄】 1.縦4.5×横3.5cm または 縦4.0×横3.0cm 2.本人単身・無帽・ 胸から上 3.最近6ヵ月以内撮影 のもの
氏名						
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢	歳			
生年月日(西暦)		生	本籍地			
現住所	〒(郵便番号)			都道府県コード		
	住所1(都道府県市区町村番地)					
	住所2(建物名・階・部屋番号)					
	TEL			携帯電話		
	メールアドレス					
勤務先	名称					
	業種コード		業種			
	〒(郵便番号)			都道府県コード		
	住所1(都道府県市区町村番地)					
	住所2(建物名・階・部屋番号)					
	TEL					
学歴	最終卒業学校名	学部学科名		在籍期間(西暦)		
				入学	年 月	
				卒業	年 月	
受験資格	<input type="checkbox"/> ①大学卒			卒業	年 月	
	<input type="checkbox"/> ②短大・専門学校・高専卒			卒業	年 月	
	<input type="checkbox"/> ③高校卒			卒業	年 月	
	<input type="checkbox"/> ④自然再生士補	登録番号		取得	年 月	
受験手数料	振込日					
	振込名義					
	振込金額	<input type="checkbox"/> ① 19,000円		<input type="checkbox"/> ② 16,000円		

- ・太枠内に必要事項を記入してください(※の欄は記入しないでください)。
- ・全ての様式は、Excelデータ(「入力補助機能付」or「直接入力用」)をダウンロードしてパソコンでの作成が可能です。

実務経歴書

	事務所又は 勤務先	所在地	地位 職名	実務内容	従事期間（西暦）					
					従事開始		従事終了		年月数	
					年	月	年	月	年	ヵ月
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
合計年数（必要な経験年数を満たしているか、必ずご確認ください）									年	ヵ月

経験論述

事例名称 (実務・活動・研究名)	
実施年月	
実施場所	
経験論述 (記入欄) (800字)	